

11月 モニターレポート		担当出張所	枚方出張所
担当区間	淀川中流左岸 大阪市守口市境界 ～ 枚方大橋 (左岸14.6k～25.7k)		
モニター実施日時	令和2年11月 3日(祝) 13:30時頃～15:00時頃 令和2年11月15日(日) 11:00時頃～13:30時頃		
天候	3日 晴れ	15日 晴れ	
(見出し)			
担当区間は、全区間を一度、モニター実施することとします。			
また、3分割した区間毎の状況について別途日時を設定し、モニター実施させていただきます。			
モニター開始			
担当区間全域確認	15日実施	大阪市守口市境界 ～ 枚方大橋	
分割区間確認	3日実施	第2分割区間 鳥飼大橋上流 ～ 淀川新橋上流 淀川距離票17.6km 淀川距離標23km	
(内容)			
11/ 3 実施			
第2分割区間 鳥飼大橋上流(淀川距離票17.6KMP)～ 淀川新橋上流(淀川距離標23km)			
快晴の休日。穏やかな気候の下、モニター活動を実施した。			
区間内の堤防敷は、下草刈込作業が行われ、青空の下、ゆったりと自然環境が満喫できた。これから、寒くなり草木の生育状況は、夏とは異なりゆっくりとしたペースになるので、グッドタイミングで作業が実施されたと思う。しっかりとした計画的作業管理に感謝する。			
河川公園内で次の季節を睨んだ畝の設置がされているが、我々、河川利用者を楽しませる工夫を鋭意実施されるよう希望する。また、先月、市民の河川愛護意識高揚策を痛感したが、私の担当する本淀川堤防はかつて、東海道として大阪へ向かう街道として利用されており、川沿いは堤防付近に多くの歴史遺産が存在している。歴史ウォークの舞台としても活用出来る。難しい点も大いにあると思うが、淀川管理事務所主催のイベントなども検討してみたらどうでしょうか？(すでに実施済なら失礼しました。)			
当日の状況写真等			
			
河川状況は落ち着いた刈込済みの快適な環境創出に感謝	管理センターの風力発電装置？ 風車が特徴的であった	寝屋川中間管理センター 閉館が続いているが、コロナ関連？	
			
水際の清掃もなされ 十分な管理がなされていた	公園内の緑化保全活動 植え込み作業が始められていた	担当区間付近に歴史的資産がある！	

(内容)

11月15日 実施

担当区間全域（大阪市守口市境界～枚方大橋）確認

区間割の全域でモニタ活動。今回は、堤防天端と高水敷通路の現況確認を行った。

活動活動日は、天気も良く、また、管理事務所のご尽力で堤防上通路下草や猛けた草木などが綺麗に刈り取りがなされていたので、ゆったりとしてゆったりとした快適な環境が創出されており絶好の日和。都会部の数少ない自然に触れる場としての【淀川沿川】を楽しむことが出来た。感謝する。

ところで、沿川を楽しむ中で改めて、再度感じたが、私の担当区間には歴史的な遺産とも言える数々の遺構が存在する。まさに、太古の昔（茨田堤跡や文禄街道跡、徳川時代の樋跡等々）から現在に至る歴史の現場であると思う。また、私の区間以外にも、その場その場でそれなりの遺物や名所が存在するものと推察する。折角の存在を具体的に生かし、施策活用するのも有効な手法ではないだろうか？

さて、目立ったゴミもなく手入れがなされており、特に申し上げるべき点もない。これからも、適切な河川管理に取り組まれることを切に希望する。感じた事・思った事を写真とともにレポートします。

以下当日の状況写真



堤防上の通路沿い草刈り込み済
河川の見通しも良く 快適な環境！



川沿には、歴史遺産が多い
(昔の跡、文禄堤跡?)



前回確認できなかった倒木
電線に架かっており危険



高水敷内の通路でのゴミ投棄
使用者のマナーが問われる



作業中の管理車両と遭遇
蜂の駆除作業と伺った



堤防通路の看板
記載【堤防天端】は市民には不明

(意見・感想・処置等)

上記にも書かせてもらったが、堤防沿川には数々の歴史的遺産や遺構が残されている。これを活用した数々の取り組みが、沿線自治体や民間企業（京阪他）等でイベント展開されている事を承知している。すでに取り組みがなされていたら別ですが、昨今の健康ブームの折柄、堤防敷、堤防上道路を活用した【歴史を感じる健康ウォーク】的イベント（切口は河川愛護）は検討されているであろうか？

先月の報告でも書かせてもらったが、我々利用者の河川愛護意識高揚を図ることは、適切な河川管理や行政施策展開の理解向上に繋がるものと考えるので、実施内容を吟味され適切な季節に実施検討されたい。具体的な展開に当たっては、淀川沿川の教育委員会文化財担当協力を仰げば、現地展開がスムーズに運ぶと思うので、河川愛護や適切利用協力をテーマを内容に盛り込めば、イベント効果が望まれると思う。

(意見・感想・処置等)

11月のモニター報告有難うございました。

御担当の区間にはいろいろな歴史的な遺産とも言える数々の遺構が存在していますね。

まさに、太古の昔（茨田堤跡や文禄街道跡、徳川時代の樋跡等々）から現在に至る歴史の現場ですよ
ね。

文献によりますと、茨田堤は淀川と古川との間の中州状の旧茨田郡(今の寝屋川市西半)の微高地を洪水から守るために、淀川の自然堤防上に水流からなりひかえて造られた輪中堤のようなものであったと考えられ、今の淀川の左岸堤のような堂々とした連続堤防を想像するのは疑問であると記載してあります。

茨田堤の確かな位置についてはいろいろな説がありますが、課と増しの堤根神社内に今もその名残を見ることができるそうです。

淀川の管内には河川レンジャーという方が活動されています。

河川レンジャーは、住民のみなさんが行政と一緒に川の水管理や整備を行うため、住民のみなさんと行政との橋渡し役となって行政が責任をもたなければならないこと以外で、危険を伴わない河川管理上の役割を担い、活動を通じて河川と地域との良好な関係をつくっていく人です。

河川レンジャーはご自身の得意分野・能力を活かした活動を計画して頂き、淀川河川事務所も活動をサポートします。

河川レンジャーの主な活動内容には川の歴史・文化を普及・啓発する活動も含まれています。

過去には茨田堤等のスポットを紹介しながらめぐる淀川探訪会などの活動も実施しています。

それでは12月のレポートをお待ちしております。

